

平成31年度10月期入学

京都大学大学院情報学研究科

修士課程(先端数理科学専攻)学生募集要項

(平成30年 12月実施)

京都大学大学院情報学研究科

## 情報学研究科アドミッション・ポリシー

京都大学情報学研究科の掲げる「情報学」は、広く自然、人工、社会および生命システムにおける「情報」を対象としており、情報学研究科の教育研究は「人間・社会と情報とのインターフェース」、「数理モデリング」、「情報システム」というキーワードを3本の柱とする「広い意味での情報学」で特徴づけられています。情報学研究科ではこれらのキーワードに関連する個々の学術分野において新しい学術や技術を創生するだけでなく、情報の本質を理解し、情報技術が人類・社会に与える影響を理解し、情報に関する科学・技術が正しい方向に進展することを目指し、京都大学の目指す地球社会の調和ある共存の実現に「広い意味での情報学」の視点から貢献しています。

情報学研究科はこのような研究科の理念を理解し、情報学研究科の掲げる「広い意味での情報学」の学術や技術を熱意をもって学修し、また未来に向けて情報学の新たな領域を開拓しようとする意欲を持った優秀な学生を、幅広く受け入れたいと考えています。そのため、学修・研究を志す学術分野についての一定の基礎学力を有していれば、理系・文系という枠組みにとらわれず、「広い意味での情報学」と関わる多様なバックグラウンドの学生を、国内に限らず世界中から広く受け入れたいと考えています。また、既に社会に出て活躍している人に対しても、「広い意味での情報学」を熱意をもって学ぼうとする人には、広く門戸を開いています。

具体的には、京都大学が望む、優れた資質を有して学問に対する意欲に溢れた人材で、情報学研究科の目指す「広い意味での情報学」に関わるいずれかの学術分野に関心を持ち、その分野に関する基礎学力を有し、さらに高いコミュニケーション能力を有する人材を、出身にとらわれずに幅広く受け入れたいと考えています。さらに博士後期課程では、「広い意味での情報学」の最先端の知見を熱意をもって学修し、それをもとに今後の情報学の発展に寄与する学術の創生や技術開発の研究に熱意をもって取り組む人材を受け入れたいと考えています。

本研究科の修士課程は、大学院設置基準第4条第4項にいう博士課程の前期2年の課程である。

## I. 募集人員

先端数理科学専攻 若干名

## II. 出願資格

◎ 次の各号のいずれかに該当する者、あるいは、平成31年9月末をもって、該当する見込みの者。

- 1 日本の大学を卒業した者
- 2 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- 3 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（注2）
- 4 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（注2）
- 5 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者（注2）
- 6 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（注2）
- 7 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 8 文部科学大臣の指定した者
- 9 外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者（注2）
- 10 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達している者（注3）

注1. 本研究科の実施した平成31年度修士課程学生募集において、すでに合格した者は、今回の募集に出願する資格はないものとする。

注2. 出願予定者で外国の大学を卒業した者あるいは外国において学士の学位を取得した者は、原則として、事前の資格の確認を要する。

【中国大陸,香港および台湾の大学を卒業した（見込）者】

京都大学アドミッション支援オフィスのホームページ（AAO、<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/international/students1/ku-aao.htm/>）へアクセスし、資格の確認を行うこと。AAOによる資格確認の結果は、AAOから情報学研究科に通知されることになっている。過去にAAOの出願確認を受け、出願資格を有すると確認された者は、資格の確認を行う必要はない。

【その他の国あるいは地域の大学を卒業した（見込）者】

情報学研究科で資格の確認を行う。該当者は学歴調書及び卒業証明書を平成30年11月1日（木）午後5時までに、情報学研究科教務掛（総合研究8号館1階）に提出しなくてはならない。

なお、国によっては学校制度の違いから、Ⅲの出願資格審査が必要となる場合があるの

で注意すること。

注3. 出願資格10による者は、事前に出願資格審査を受けなければならない。(出願資格審査の項参照) 事前の出願資格審査を受けずに出願書類を提出しても受理しない。

### Ⅲ. 出 願 資 格 審 査 (出願資格10による出願該当者)

出願に先だち資格審査を行うので、次の書類を、平成30年11月1日(木)午後5時までに情報学研究科教務掛(総合研究8号館1階)に提出すること。郵送の場合は、必ず**書留速達便**とし、封筒の表に「平成31年度10月期入学出願資格認定申請」と朱書すること。

#### 1. 出願資格審査必要書類(\*印は、募集要項に所定用紙が添付されている)

提出書類は日本語または英語で作成すること。日本語あるいは英語でない書類には、日本語訳あるいは英語訳を添付すること。

* 1	出願資格認定申請・調書	
2	卒業証明書	最終出身学校が作成したもの
3	成績証明書	最終出身学校が作成したもの

#### 2. 審査方法及び日程

(1) 出願資格の認定申請をした者には、書類審査、並びに大学卒業程度の学力について筆記試験(教養科目、英語)及び口頭試問(専門科目)を行う。

ただし、過去に本研究科の出願資格審査を受け、出願資格を有すると認定された者は、上記必要書類の\*1の申請・調書のみ提出すれば十分である。筆記試験及び口頭試問は省略する。

筆記試験及び口頭試問は、平成30年11月9日(金)に本研究科において行う。

(2) 資格審査の結果は、平成30年11月12日(月)に申請者へ通知する。

### Ⅳ. 修士課程出願書類等(\*印は、募集要項に所定用紙が添付されている)

提出書類は日本語または英語で作成すること。日本語あるいは英語でない書類には、日本語訳あるいは英語訳を添付すること。提出書類に不正のある場合は失格とし、入学後に判明した場合には、過去に遡って合格と取り消す。

* 1	入学願書	正確に記載のこと
2	卒業(見込)証明書	出身・在籍大学が作成したものであって、入学年月および卒業(見込み)年月が明記されているもの。ただし、出願資格3、4及び5の該当者で「Ⅱ. 出願資格」の(注2)により既に本研究科に提出している場合は不要(AAOへ提出した場合は今回必要)。なお、出願時期の関係で卒業見込証明書が発行されない場合は、その旨を記した文書(様式自由)を提出すること。
3	成績証明書	出身・在籍大学が作成したもの
4	志望説明書	これまでの学修・研究の経過、志望動機、入学後の研究の抱負などをA4判2枚以下にまとめたものを提出すること。冒頭に出願者名を明記し、卒業研究に相当する科目を履修した場合(履修中も含む)は、当該科目のテーマと内容も明記すること。(様式随意、文書作成ソフト等を使用して清書することが望ましい)
5	パスポートの写	外国人留学生のみ顔写真のあるページの写を提出すること。
* 6	入学検定料振込書類	入学検定料については、「EX-決済」にて支払うこと。以下のURLにアクセスし、画面の指示に従って入学検定料(30,000円)

		<p>を支払い、支払い確認画面から収納証明書を印刷したものを必ず出願書類と共に提出すること。</p> <p><a href="https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/inf/">https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/inf/</a></p> <p>振込期間 平成30年11月5日(月)～11月16日(金) (最終日は、午後5時まで。期間外取扱不可)</p> <p><b>* 日本国内から出願する場合</b> 指定のコンビニエンスストア、クレジットカード(VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club INTERNATIONAL)、金融機関ATM(Pay-easy)または指定のネットバンキングのいずれかで支払うこと。(出願者本人の名義ではない(例:両親等)クレジットカードや銀行口座での支払いも可能。)</p> <p><b>* 日本国外から出願する場合</b> クレジットカード(VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club INTERNATIONAL)により支払うこと。(出願者本人の名義ではない(例:両親等)クレジットカードでの支払いも可能。)居住している国、地域の事情等により、クレジットカードでの支払いができない場合は、11月5日(月)までに7頁の【問合せ先】に連絡すること。</p> <p><b>【入学検定料の免除等について】</b> ※1 国費留学生入学検定料は不要である。国費留学生であることが分かる証明書等(写も可)を提出すること。 ※2 平成23年3月に発生した東日本大震災または平成28年4月に発生した熊本地震による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者については、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがある。詳細については、平成30年11月5日(月)までに情報学研究所教務掛まで問い合わせること。</p>
*	7 入学手続き書類送付用シール	入学手続き書類送付用とし、所定の用紙に平成31年9月上旬の住所・氏名・郵便番号を記入すること。(提出後、住所変更があった場合には、速やかに届け出ること。)
*	8 受験票送付用封筒	募集要項添付の封筒に682円切手(速達・簡易書留扱い)を貼り、平成30年12月上旬に受験票を受け取る住所・氏名・郵便番号を記入のこと。
*	9 合否結果通知書送付用封筒	募集要項添付の封筒に平成30年12月下旬の住所・氏名・郵便番号を記入すること。(提出後、住所変更があった場合には、速やかに届け出ること。)
*	10 出願資格認定申請・調書	(出願資格9該当者のみ)
	11 教育課程表	(出願資格9該当者のみ) 在籍する学科等の開講科目の講義内容等が詳細に記載されたもの。ただし本学在学学生は不要。

(注1) II. 出願資格2の見込みの該当者は、上記書類のほか「学士の学位授与申請予定である旨の証明書」(様式随意:学位が得られないこととなった場合は、速やかに通知する旨の記載のあるもの)を提出すること。

(注2) 本学他研究科の在学学生で合格した場合は、入学手続き時に退学(または修了)証明書の提出が必要である。現在の身分を偽って出願した場合は、入学後であっても、過去に遡って合格を取り消すことがある。

(注3) 外国人留学生で合格した者は、本学への入学に際して、在留資格(留学)および在留期間の記載された住民票の提出が必要である。

## V. 出願手続及び注意

1. 出願者は、出願書類等を次の提出先（受付会場）へ持参または、郵送により提出すること。郵送の場合は、封筒の表に「平成31年度10月期入学募集出願書類在中」と**朱書**し、必ず**書留速達便**とし、次の郵送先へ郵送すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、こちらから問い合わせることがある。
2. 受験票の発送により、受理したことへの通知に代える。
3. 出願書類受理後は、原則として出願事項の変更は認めず、出願書類が受理された場合の入学検定料の払い戻しには応じない。原則として、提出された出願書類は返却しない。

【出願書類等受付日】 平成30年11月16日（金）  
受付時間：午前10時から午後5時まで。（正午から午後1時の間を除く。）  
（郵送による受付は、11月16日（金）午後5時までの到着分とする。）

提出先

【受付会場】 京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院情報学研究科事務室・教務掛  
（総合研究8号館1階（裏表紙構内図参照））

郵送の場合

【郵送先】 〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院情報学研究科教務掛  
Tel (075)753-4894, 5500

4. 障害等があつて受験上の配慮を必要とする出願者の事前相談を受け付ける。相談の内容によっては対応に時間を要することもあるため、相談依頼文書（様式随意、ただし下記情報を含むこと）に障害者手帳の写し又は医師の診断書を添付し、11月9日（金）までに上記出願書類提出先に持参または郵送により提出すること。

【相談依頼文書に明記する事項】

- ・ 氏名、生年月日、性別、住所、電話番号、メールアドレス
- ・ 志望専攻名、課程（修士・博士後期）
- ・ 障害等の種類、程度
- ・ 希望する配慮事項

## VI. 入学者選抜方法及び学力検査日程

1. 入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査（筆記試験・口頭試問）の成績により行う。なお、口頭試問の対象者は、筆記試験の結果により決定される。
2. 学力検査は、次の日程により本研究科において行う。

◎平成31年度10月期入学修士課程（先端数理科学専攻）学生募集学力検査日程

試験科目の内容、出題範囲、選択形式などの詳細については、後掲VIIに記載されているので、熟読すること。

専攻	平成30年12月8日(土)		平成30年12月9日(日)
	試験時間	試験科目	
先端数理科学	10:00~11:30	基礎科目	予備日
	13:00~14:30	専門科目	
	16:00~	口頭試問(注)	

注. 口頭試問対象者及び口頭試問日時は、平成30年12月8日（土）午後3時45分（予定）に情報学研究科事務室前入試用掲示板（総合研究8号館1階）に掲示する。受験者多数のときは、一部の受験者の口頭試問を予備日に行うことがある。

3. 受験票は、出願時に指定された受け取り先住所に12月上旬に郵送する。12月4日（火）までに受験票が届かない場合は、本要項【問合せ先】に記載のメールアドレスに問い合わせること。なお、海外在住者には受験票をスキャンしたPDFファイルを入学願書に記載のメール宛に送付するので、紙に印刷したものを持参すること。
4. 試験場等受験に関する注意事項の掲示について  
掲示内容については各自で確認すること。電話等による問い合わせには応じない。  
日 時：平成30年12月8日（土）午前9時15分までに行う。  
場 所：情報学研究科事務室前入試用掲示板（総合研究8号館1階：裏表紙構内図参照）
5. 試験当日は、試験開始20分前までに当該試験室前に集合すること。なお、口頭試問については、別の指示があるときはその指示に従うこと。
6. 学力検査（筆記試験）に関する注意事項
  - ① 試験室では必ず受験票を携帯し、試験監督の指示に従うこと。
  - ② 試験に使用を許す筆記用具等は、鉛筆・万年筆・ボールペン・シャープペンシル・鉛筆削り・消しゴム・定規・時計（計時機能だけのもの）に限る。スマートフォン・携帯電話等を机の上に出すことはできない。
  - ③ 辞書・事典（電子辞書を含む）の使用を許可しない。
  - ④ その他参照物については、専攻の指示に従うこと。
  - ⑤ 試験開始時間に遅れた場合は、各科目とも試験開始後30分以内に限り入室を認める。
  - ⑥ 欠席した科目の点数は0点として扱う。2科目以上欠席した場合は失格として扱うので、以後の科目を受験することができない。
7. 口頭試問に関する注意事項  
口頭試問の対象者で口頭試問を欠席した場合は失格として扱う。

## VII. 専攻の志望区分及び試験科目についての補足

1. 専攻の志望区分及び試験科目についての補足は、6頁に記載。
2. 志望区分について  
専攻の志望区分には、それぞれ収容定員があり、第一志望どおりに配属し得ない場合もあるので、志望区分の順位を申告すること。  
入学願書の所定欄に、配属を志望する志望区分を熟考のうえ、専攻の指示に従って志望順に記入すること。  
記入していない区分には配属の意思がないものとみなされ、得点が合格者最低点より高い場合でも不合格となることがある。  
入学願書に記載した事項は、原則として願書が受理されてからは修正・変更できないため、注意して記入すること。  
なお、「志望区分案内」は <http://www.i.kyoto-u.ac.jp/admission/application.html> に掲載されているので、出願前に必ず確認すること。

## 先端数理科学専攻

### (ア) 「基礎科目」についての補足

学部1回生で学習する程度の線型代数及び微積分、初等的な(常)微分方程式、1変数の複素関数についての初歩的な内容、「力学(質点・質点系および剛体の力学)」から複数題出題される。各受験者は解答時にこの中から3題を選択して解答する。(配点150点)

### (イ) 「専門科目」についての補足

「解析学」「応用数学」「工業数学」「統計力学」「連続体力学」の合計5題が出題され、各受験者は解答時にこの中から1題を選択して解答する。(配点150点)

なお、上記の「応用数学」、「工業数学」、の指す具体的な内容は、以下の通りである。

応用数学 : より進んだ内容の線型代数及び微積分(ベクトル解析を含む)、1変数の複素関数論、常微分方程式、偏微分方程式(初歩的な内容)、フーリエ解析、および数値解析・数値計算に関する事項など。

工業数学 : 工学系学部で学習する程度のベクトル解析、複素解析、フーリエ解析等に関する主として計算問題。常微分方程式・偏微分方程式の初歩的な解法、および工学に現れる微分方程式の数値計算法などに関する事項など。

なお、試験の参考となる問題が(オ)の専攻ホームページには掲載されている。

### (ウ) 入学選抜方法および口頭試問についての補足

基礎科目、専門科目の点数および出願書類の内容を総合して口頭試問対象者を決定し、口頭試問対象者に対して志望区分まで含めて可否により合格者を決定する2段階の選抜を行う。

受験者多数の場合は、一部の受験者の口頭試問を予備日に行うことがある。この場合、京都大学の在学生以外の受験者について、口頭試問は12月8日(土)に実施する。

口頭試問においては、志望動機、出身(在学する)大学での学習内容(特に卒業研究に関する内容)、志望区分及び希望する研究分野、筆記試験の内容などについての試問を行う。

### (エ) 志望区分及び研究分野

以下の5つの志望区分の中から、順位を付けて3つまで記入すること。

志望区分	研 究 分 野
先端-1	応用解析学、逆問題、非線型問題、偏微分方程式、数値解析、確率論、フラクタル解析
先端-2	非線形力学、非線形振動系、計算物理学
先端-3	理論神経科学、非平衡・非線型物理学、ネットワーク結合力学系
先端-4	数値シミュレーション、計算力学、計算工学
先端-5	流体力学、希薄気体力学、流体の数値計算

志望区分の順位等については口頭試問の際に再確認し、その際に願書に書かれているものを変更することも認める。

### (オ) 専攻のホームページ

<http://www.acs.i.kyoto-u.ac.jp/>

(カ) 試験科目には「英語」を課していないが、入学後の学習では英語力は必要である。



## Ⅷ. 合格者発表

下記日時に掲示するとともに、志願者全員に可否の結果を郵送により通知する。

(電話等による問い合わせには応じない。)

入学手続については、平成31年9月上旬に合格者あて郵送により通知する。

日 時：平成30年12月14日(金) 午後3時

場 所：情報学研究科事務室前入試用掲示板(総合研究8号館1階)

当研究科ホームページにも上記同時刻以降、12月20日(木)まで掲載する。

<http://www.i.kyoto-u.ac.jp/admission/pass.html>

## Ⅸ. 入学料及び授業料

入 学 料 282,000円(予定)

授 業 料 年額 535,800円(予定)

注1：国費外国人留学生は入学料・授業料ともに不要。

注2：入学料および在学中に授業料が改定された場合には、改定時から適用されます。

## Ⅹ. 個人情報の取扱いについて

出願書類等に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所、およびその他の個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学試験の実施、②入学手続き、奨学金制度等、③入学者の受入準備等の目的において利用します。

### 【募集要項の請求】

募集要項を郵送で請求する場合は、250円切手を貼付した返信用封筒(角2サイズ 24cm×34cm)に住所・氏名・郵便番号を明記したものを同封のうえ「平成31年度10月期入学修士課程(先端数理科学専攻)学生募集要項請求」と朱書き、【問合せ先】へ請求すること。出願に際しては添付の書類が必要である。

### 【問合せ先】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院情報学研究科教務掛(総合研究8号館)

メールアドレス: [jyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto: jyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

TEL (075)753-4894, 5500

(時間 平日：午前9時～午後5時〈正午～午後1時を除く〉)

平成30年10月